

平成 25 年 12 月 16 日



せりがや通信第39号

せりがや病院開設 50 周年記念講演会

第 1 部 松本俊彦先生の講演『依存症臨床から学んだこと』

黒澤 文貴

平成 25 年 11 月 10 日午後、上大岡のウィリング横浜にて、せりがや病院開設 50 周年記念講演会が開催されました。第一部では松本俊彦先生から「依存症治療で学んだこと」というテーマでのお話がありました。「依存症は罰では治らない」ということから始まり「依存症の害よりもやめ方を」「リストカットは単なるアピールではなく生きづらさを緩和させるための方法の一つ」など、依存症治療の核心を突いた、一方で世間一般の認識を覆すような内容につき、引き込まれるようなテンポで御熱演されました。また患者さんが調子が良いときも悪いときも「今日も病院によく来てくれたね」とおもてなしの心で患者さんに向き合うことの大切さについても先生のお話から改めて意識しました。松本先生はわが国の依存症研究の第一人者であり、また小林桜児先生とともに SMARPP の生みの親でもいらっしゃいますが、かつてせりがや病院に勤務されていたときのご経験が今につながっているそうです。私たちも更なる向上心を持って毎日の患者さんとの出会いを大切にしていきたいと感じた 1 日でした。



松本俊彦先生

第 2 部 パネルディスカッション『多職種で依存症者を援助する』

小林 桜児

パネルディスカッションは「多職種で依存症者を援助する」というテーマで、文字通り多職種の方々に発表して頂きました。精神保健福祉センターの黒澤相談課長からは、せりがや在任中のご経験や、県の依存症関連事業についてご紹介頂き、当院の渡會作業療法士は、病棟との連携を通して専門的な作業療法が実施可能であることを指摘されました。堀内看護師は、病棟プログラムの変遷を懐かしい動画でたどりつつ、現在の外来看護の取り組みについて、大曾根心理相談科長は、SMARPP を通じた援助の実際や、各種相談業務について紹介されました。最後に青山医師に、依存症医療における多職種連携の重要性について分かりやすくまとめて頂きました。パネリストの皆さんの発表を聞いて、せりがや病院の 50 年間を貫いてきたものは、多職種が患者さんを円のように取り囲んで互いに対等な立場で治療に当たる精神なのだと、あらためて気づかされました。せりがや病院は来年 4 月からベッド数削減と治療プログラムの再編、12 月からは芹香病院との統合などさらなる激動の時期を迎えます。変化を、失敗を恐れず、より良い依存症医療を目指して多職種が力を合わせ、新しい試みを続けていきたいと思えます。



左から青山氏, 黒澤氏, 大曾根氏, 堀内氏, 渡會氏

せりがや病院 50周年メッセージ集

講演会当日ご参加くださった多くの方からメッセージをいただきましたので、一部ご紹介させていただきます。なお、紙面の都合上、メッセージの全文ではなく、一部抜粋という形にさせていただきます。いただいたものもありますが、ご了承ください。



開設 50 周年おめでとうございます。近隣にこのような専門的かつ歴史がある病院がある事は大変幸せであり、心強く思います。これからもよろしく願いいたします。(M)

たいへん参考になる講演会でした。今後もこのような講演会を続けていただきたいと思います。

50 周年おめでとうございます。(のり)

「おもてなし」精神の取り入れやチームで足並みをそろえたかわり、支援の意識、必要性について改めて確認させていただきました。(刑務所職員)

せりがや病院の歴史、積み上げ作りあげてきた医療が素晴らしいものだと感じました。新しいセンターになっても、増々パワーアップして積み上げてください。(K)

日本の依存症治療のトップランナーとして我国のモデルを更に進化させて頂けると嬉しく思います。(M.I)

芹香病院との合併後も益々そのユニークで効果的な医療を発展させていただきたいと思います。(DAメンバー)

今迄のせりがや病院で行ってきた事を大切にしながら、新しい医療に取り組んで患者さんが望むおもてなし、日本一の医療センターになるように頑張っていきたいと思います。(せりがや花子)

最近の脳科学、画像診断、脳機能の局在等の研究成果を依存症医療の診断、治療の向上につなげて欲しい。(K.O)

たくさんのメッセージありがとうございました

< アルコール依存症家族教室のご案内 >		< 薬物依存症家族教室のご案内 >	
開催日程と担当		開催日程とテーマ	
1月16日(木)	ソーシャルワーカー/臨床心理士	1月9日(木)	テーマ4 家族の回復
2月6日(木)	医師	1月23日(木)	テーマ1 薬物依存症とは
2月20日(木)	ソーシャルワーカー/臨床心理士	2月13日(木)	特別講座 講師未定
3月6日(木)	看護師	2月27日(木)	テーマ2 家族ができること
3月20日(木)	ソーシャルワーカー/臨床心理士	3月13日(木)	テーマ3 家族の変化・本人の変化
		3月27日(木)	テーマ4 家族の回復
開催日時 第1・3木曜日午後1時30分～3時(祝日除く)		開催日時 第2・4木曜日午後1時30分～3時(祝日除く)	
場所 せりがや病院 2階ダイケア室		場所 せりがや病院 2階ダイケア室	
平成26年4月から家族教室の日程が変更になります。詳細につきましては、決まり次第当院ホームページの情報を更新する予定ですので、下記のURLからホームページへアクセスしてご確認ください。			
http://seishin.kanagawa-pho.jp/serigaya/index.html		:045(822)0365	
住所: 233-0006 神奈川県横浜市港南区芹が谷 2-3-1		発行所: 神奈川県立精神医療センター せりがや病院	